



なきごえ



1987

1

大阪市
天王寺動物園協会

畑 正 憲



「なぜそのように動物好きなんですか」

と私はよく訊かれる。その度に、何千回腹を立てたか分からない。顔色が青ざめるのが自分でも気がつくぐらいだ。とにかく

ムツとする。このような裸の質問は、ぎらぎら光るナイフを突き立てられる感じがして、時間を無駄にしないでくれと叫びたくなってくる。

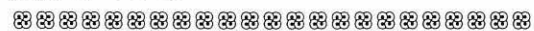
私は自分を、特別に動物が好きだなどと思っていなかった。ごく普通であり、当り前のことをしているだけだと信じていた。

ところが50歳を過ぎてから、同じ質問をぶつけられても怒らなくなった。

「動物が好きですから……」

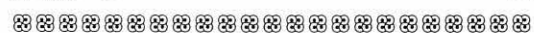
と、にこにこ笑っておれるようになった。相変らず質問の生硬さにはへきえきするけれども、自分が他の人よりちょっとだけ動物が好きなんだと自覚するようになったからでもある。この10年間、世界中をとびまわり、いろいろな国で、動物と一緒に暮す人たちと付き合ってきた。砂漠ではラクダで旅をし、熱帯では象使いたちと寝食をともにした。そして自分が、ラクダ使いや象使いと違う部分を持つのが見えてきた。

彼らはもちろん、ラクダや象を愛してはいるのだが、自分、つまり人間ときびしくわけて生きている。だが私は、象に会えば、とろけるような気分になって、象になってしまいたいと願う。象と自分が同じ平面に立つまで納得しない。その違いが客観的に認識出来てきた。



なきごえ1月号もくじ

動物と私	2
“ラマの一家はおおにぎわい”	3
動物園グラフ・動物園日記	4-5
兎の郷土玩具	6-7
ノウサギを飼育して	8-9
動物なんでも相談室	10
動物園ニュース	11



更に言うなら、私は人間を描きたくて作家の修行をしてきた。俳優の芝居を撮りたくて映画の監督になった。しかし、動物とのことばかりが世に知られてくると、その分野での注文しかこなくなった。何年間かは、動物についてのエッセイは書かないと断わったりしたものだ。

50歳を越してそれもなくなった。動物好きでいいじゃないか、そう思う。

それで思い出すが、かの有名なコンラート・ローレンツ博士にお目にかかった時のことだ。博士は、みんな私を特別扱いにするのだけど、自分は作家なんですという不幸を聞くと、やさしく微笑み、

「いいじゃありませんか。動物の心が聞ける人は、そうざらにいるものじゃありません。ひょっとすると、10人いないのじゃないかなあ。そのくらいですよ。自分を大切にさい」

そう諭して下さった。

たいそう光栄なことであった。

私は自分が、それほど大それた存在だとは決して思っていないが、旅を続ける内に、動物と一緒にいるが、その心が分っていない人があまりにも多いのにびっくりもしている。どうしてなんだと、詰め寄りたくらいでもある。

動物は素晴らしい。文句なしだ。命があるものはすべて美しいし、見ているだけで胸が高鳴る。年毎にそうだ。

人は愛を観念でとらえる。愛してるよ、などと言葉にされると、うっとりする。

ところが動物は、生きているという現象そのものが愛の表現になっている。森を歩く。空を飛ぶ。その一瞬、一瞬が真剣勝負であり、生きているよるこびがあふれている。生活の細部、一挙手一投足がいきいきしている。そこがたまらない。

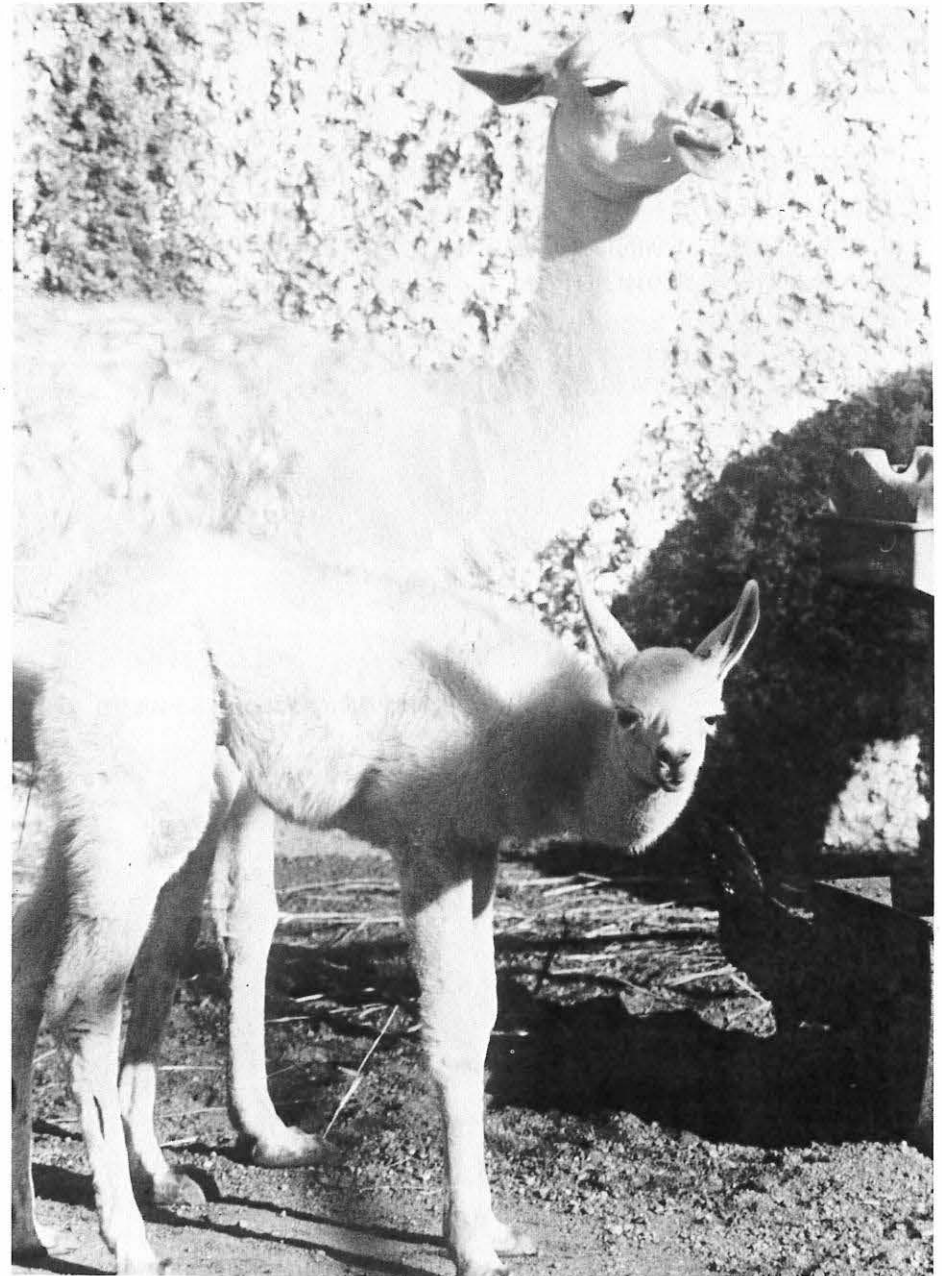
ああ矢張り、だから自分は動物好きなんだこの頃思うのである。(作家)

表紙の写真説明

“カイウサギ” (*Oryctolagus cuniculus* var. *domesticus*)

カイウサギはスペイン地方に分布するアナウサギから家畜化されたものと言われ、今から2000年前に既に飼育されていたそうです。今では数10種の品種があり、肉用、毛皮用、そして実験動物など様々な用途に利用されています。

(撮影：山下 奉之)



“ラマの一家はおおにぎわい”

11月29日、オスの赤ちゃんが生まれました。今年は、合計3頭の赤ちゃんが生まれており、ラマの一家は7頭の大家族になりました。

(撮影：神原 安昭)

動物園グラフ

“ウサギの郷土玩具展”

今年で2回目を迎えたエトにちなむ郷土玩具展もますます好評です。今回はその展示されているウサギの郷土玩具の中から、見どころをいくつかご紹介しましょう。

(展示期間 1月2日～2月11日)

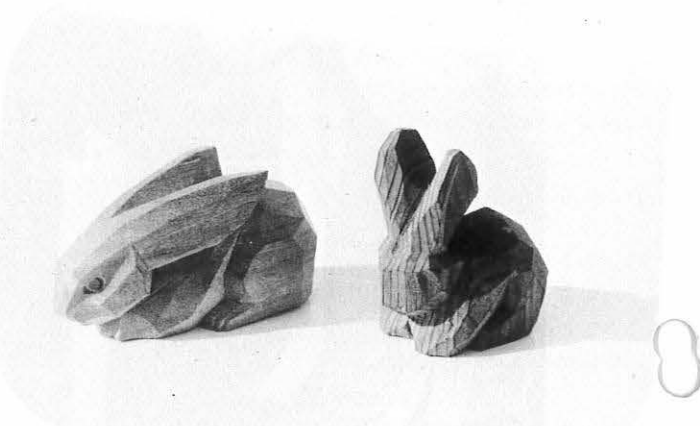
出展者：平田嘉一氏（郷土玩具蒐集家）



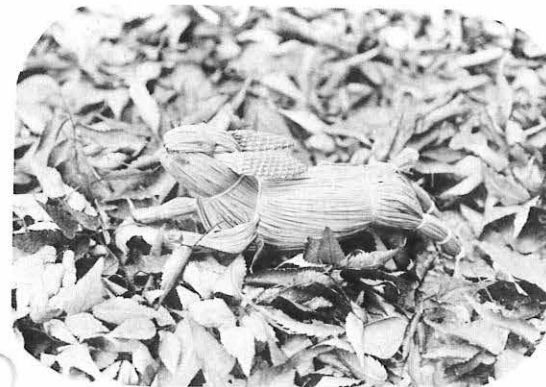
江戸張子干支卯（洋服ウサギ）〔神奈川〕



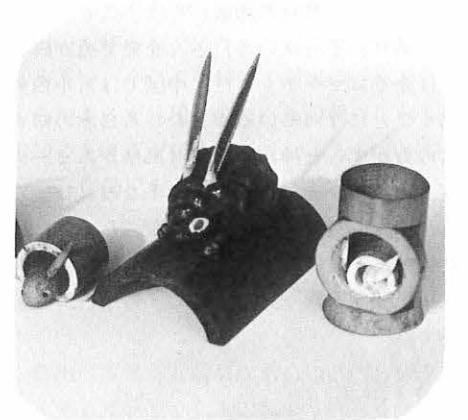
会津中湯川 恵美須兔(右)と大黒兔(左)〔福島〕



一刀彫兔 西宮神社(左)と春日大社(右)〔兵庫・奈良〕



新井わら兔〔新潟〕



松笠兔(中央)と竹製兔(左・右)〔石川〕



杵もち兔〔高知〕



小幡カチカチ山兔〔滋賀〕

11・12月の動物園日記

- 11/10. アカカンガルーの“コリン”の子供が袋から初めて出ました。
- 11/12. オオミズナギドリを1羽保護しました。昨年8月28日生まれのハクビシンの子供2頭は出生直後から父親を隔離し母子のみで暮してきましたが、本日から父親と同居させました。
- 11/13. クビワコガモ2番とツクシガモ1番を水禽放養舎に展示しました。12日保護のオオミズナギドリの健康状態が良好のため、早速、泉南の海岸で放鳥しま

- した。
- 11/15. 本年生まれのカリフォルニアアシカの子の体重測定を行ないました。
- 11/16. 第19回動物のお話とスライドの会「サルのお話と人工哺育」を開催しました。アジルテナガザルのオスの虫歯の治療を行ないました。
- 11/20. キーウイ、ハリモグラ、ハリネズミの体重測定を実施しました。リュウキュウイノシシが交尾しました。
- 11/21. 今月7日産卵、抱卵中であつたオウサマペンギンの卵が、おしくも割れてしまいました。
- 11/24. タスマニアデビルのオス“クロベア”の尾

- が化膿しているため、すぐに治療をはじめました。
- 11/25. 舌の腫脹と虫歯の治療で入院していたアジルテナガザルを退院させました。
- 11/26. エランドのメス“ミサキ”が下痢をするため治療をはじめました。昨年6月19日生まれのカリフォルニアアシカの子の離乳のため、小アジの強制給餌をはじめました。
- 11/27. コミズクを1羽保護しました。左の上腕骨が折れていたのでピンニング固定を施しました。
- 11/29. ラマにオスの子が1頭生まれました。

- 11/30. オランウータン“サツキ”の尿による妊娠鑑定を行ないました。
- 12/2. カイウサギの2品種、レックス種とヒマラヤン種1番ずつを展示しました。
- 12/3. キジ類の定期内部寄生虫の駆虫を行ないました。
- 12/4. タスマニアデビルの“クロベア”の尾部裂創の縫合手術を実施しました。南園日本庭園池のククチョウをクロエリハクチョウ舎の横の池に移動しました。
- 12/5. 南園日本庭園池の工事のため、残りのガンカモを全て捕獲、カモシカ園と水禽放養舎、その他に分散展示しました。

△今年は十二支四番目の卯歳。兎は、こどもには大変人気があり、十五夜のお月さんを見て兎が餅を搗く幻想は全くロマンチックだ。中国では月中白兎が薬を搗くことになっているが、むしろ日本の餅を搗く情景の方がずっと神秘的であり風情がある。あの長い耳、つぶらな赤い目、軟かい毛なみ、ぴょんぴょん跳ねる姿を見ると、兎は全く愛らしく人に好かれる動物である。このように人に親しまれ、人間生活と密接な関係を持っているので、各地の郷土玩具に登場する。

△大国主命と因幡の白兎の神話は、数多い出雲の神話のなかでも、おとぎ話のような無邪気さがある面白。大国主命は出雲の国を開かれた神で、大黒さんといわれ、恵比須さんと共に福の神であり縁結びの神様である。ワニをだまして島から気多岬に渡ろうとしたが、だまされたこと知ったワニに、皮をむかれ裸にされ、泣いているところに、大国主命が通りあわされ、かわいそうに思って「ガマの穂をとって、その上に転んでいると治る」と教えられた。兎はそのようにして治ったというのである。鳥取には白兎をまつる白兎神社がある。

△東北では、その持つ独特の風土と習俗より幾多の郷土玩具が発生したが、兎玩具の呼び声高いものに、福島県三春の玉兎がある。広く張った耳、大きく開いた目、丸い背に配した美しい花模様など、単調な兎を見事造形化し、寸分のすきもない形と色の調



三春の玉兎

和に感服する。いつの頃からか、三春の在にある高柴部落を中心にこども相手にデコまたはデクと呼ばれる張子人形が作られてきたが、三春の殿様はこれに改良を加えるために江戸の人形師を招き、長い冬の期間や農閑期の副業として奨励したのである。△山形県米沢のはずれにある笹野観音の縁日に売ら

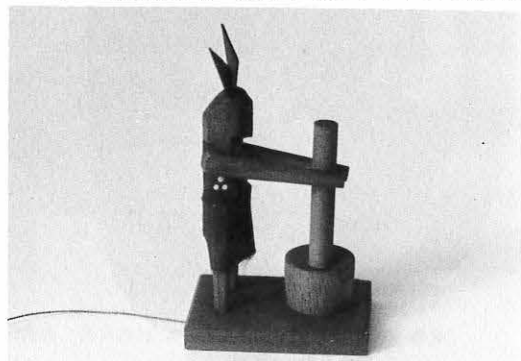
れる笹野彫のなかに兎の餅搗がある。餅搗兎は、とくに耳を削りかけにして、単純な彩色をしたもので、尾を押して離すと口にくわえた杵で臼を搗くようになっている。懸命な努力を現わしたものである。

△東京今戸人形の月見兎は、羽織を着て正座した兎。これは女性月経不順のとき、まじないにもちいられたともいい、また妊娠中絶のできなかつた当時、無事に月を見るといって、縁起をかつぎ花柳界では人気があった。これを神棚に祀って祈願をしたともいわれる。当時の庶民信仰の面白さで、江戸っ子好みの洒落気を感じさせる。

△静岡県浜松張子のなかで、こどもが引いて遊んだものに「転がしもの」と呼ぶものがある。兎ころがしは、ボール紙の大きな赤い両輪をつけ、なかの兎は起き上り式になっていて、ころがしても倒れない。明治初年に江戸から移住した旧幕臣によって創始された。この地方独特のもので、その見事な着想はほかに類型がなく、愛すべき兎のおもちゃである。

△名古屋には、糸を使って人形を動かす「からくり」仕かけの古いおもちゃが見られる。これもその一つ。台下の取っ手を動かすと、兎が餅搗をする。兎が月のなかで餅を搗いていると信じられていたころの無邪気なおもちゃである。

△金沢は加賀百万石の旧城下町として栄えた北陸第



餅搗兎

一の都市。ここにひなびた野趣味あふれる木の郷土玩具の餅搗兎がある。兎は青い半纏に赤い腰布を巻き、ぴんと長い耳を立て、糸を引くと兎が杵を振り上げて餅を搗く仕かけになっている。張子や練物とともに下級武士の手内職として作られた。

△本州の最北端、青森県弘前の下川原土人形は壁人形と呼び売られ、人形やおもちゃの少ないこの地方のこどもたちを喜ばせてきた。とくに人形背後の下部に笛口がついている人形笛がある。兎には、めでたい袴兎。十五夜お月さんのなかで餅を搗く餅搗兎。

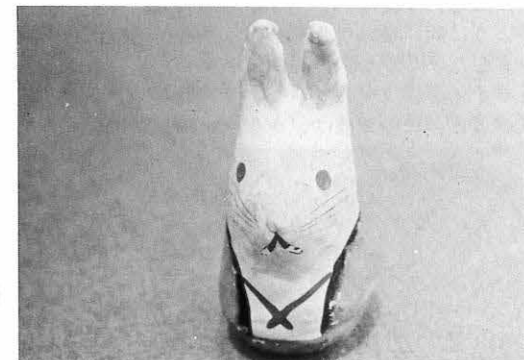
カチカチ山で悪い狸を泥舟にのせてこらしめた権(かい) 持ち兎がある。

△郷土玩具の作品群には土人形が目だつ。その総本家といわれるのは京都の伏見人形である。それだけに動物ものが多い。兎では、丸くうずくまった丸兎。走り兎。両耳を直線に立て、扇を広げた袴姿のめでたい袴兎があるが、大きな宝袋を力いっぱい曳く、兎の宝袋曳きの姿は実に愉快な傑作で、宝袋には大判小判を散らしている。

△現存する湖国(滋賀県)で、ただ一つの土人形として愛好家から親しまれている小幡でこにも兎が多く見られる。月のり兎。鈴もち兎。大黒のり兎。旗もち兎。兎抱き。人參兎。カチカチ山などがあるが、なかでも親子兎は子兎が親に甘えているようで、まことにかわいらしい。昭和59年(子歳)の年賀切手図案に、この小幡でこの「小籠のり兎」が採用されている。

△奈良の春日大社や伊勢神宮など、毎年正月に、その年のえとにあたる十二支を木彫にして参拝者に授与する。古い由緒をもつ一刀彫の技法が素材の味を効果的に出している。

△鳥取県倉吉産のいなば兎は、大国主命に助けられ



因幡張子兎

た兎にちなんで作られた張子の兎。両耳を立て、羽織姿の起上りである。神話の国らしい作品といえる。△四国高松(香川県)地方には嫁入り人形という習俗があった。嫁入りのさい、婚家の近隣のこどもたちの手土産として人形を配るので、めでたい図柄のものがあつた。以前は土人形であつたが、今日は張子製になっている。袴兎もその一つで、女性は嫁いでもらう兎のようにやさしくしていなさいという意味から作られたものといわれている。

△関東地方に入ると、千葉県柏の首振り兎が作られている。茨城県那珂張子の首振り兎は赤い首輪をつけたネコのような兎。この地方の信仰的風習であ

る十三参りのこどもたちのみやげものとして作られてきた。

△名古屋土人形では、毎年干支にちなんだかわいらしいものが作られている。とくに小型のおもちゃに秀作が多い。今年の年賀切手図案に「めおとうさぎのもちつき」が採用された。この兎は、臼をはさんだ夫婦のうさぎが餅を搗いているもので小型のかわいらしい作品である。



めおとうさぎのもちつき兎

△山形県酒田土人形の月世界は、大きなお月さんがニコリと笑っている。その前で二匹の兎が餅搗をしている姿はほほえましい。兎の郷土玩具のなかでも上位におされてもよいと思う。同県、月山の玉兎は、近くの霊山にちなんだ張子の兎。背には銀の月と雲の模様がえがかれている。

△尾西市、起(愛知県)土人形は、江戸時代後期、名古屋で製作技術を習得した陶工が、この地で創始したという。種類は多いが、人參兎は、あどけない顔をした洋服姿の子兎が、好物の人參を抱いている。これは童話の世界からどびだしてきたような感じがする。

△雪深い北国の米沢市の相良人形は、相良家が、代々この人形製作を業としたのでこの名称がついた。また、昔から作者の名がつけられているのは全国でただ一か所。創始者が武者であるため、気品と優雅さがあり、それが相良人形の特徴とされ、童子や女ものに優れた作品が多い。兎抱き娘もその一つである。△日本列島の西端部に位置する九州は、東北地方と並んで郷土玩具の豊庫といわれる。兎のおもちゃといえば、佐賀県能古見人形をあげなければなるまい。昭和38年の卯歳の年賀切手の図案に採用された佳品。土鈴として、兎をよく表現され、彩色ともに優れている。

郷土玩具蒐集家
「おもちゃ通信」編集発行人

○ 知られていない動物 小宮輝之

唱歌「ふるさと」、鳥獣戯画、因幡の白兔など、日本の歌や絵や物語にはウサギが登場します。この主人公は、私たちの見なれたカイウサギではなく、昔から日本の山野にすんでいるノウサギなのです。

ノウサギは、日本中に生息していますが、生きた実物を見た人は少なく、生態もあまり知られていません。これは、ノウサギが夜行性で人目につかないことと、飼育がむずかしく、動物園でもほとんど展示されていなかったことが原因です。

東京や大阪では、自然が減少し、野生動物に出会えることは、ほとんどないといってよいでしょう。こうした身のまわりから姿を消した動物を見てもらうことも、動物園の大切な仕事のはずです。

私は、昨年上野動物園に転勤するまでの9年間、多摩動物公園でノウサギを担当しました。はじめの3年間は、飼うことを中心に、そして飼育の見通しがついてからは、展示に発展することができました。繁殖にも成功し、26例の出産があり、55頭が生まれ、38頭が育ちました。

○ 飼育の工夫

今まで、飼育がうまくいかなかったのは、カイウサギからの先入観などによる誤解が主な原因ではないかと思えます。

まず、えさですが、カイウサギと同じに考え、ニンジンなどを与えます。その結果、下痢をして死んでしまうことが多いのです。本来、ノウサギは草が主食で、冬は木の皮などを食べています。彼らは土を掘りませんから、植物の根を積極的に食べないはずですが、ノウサギの腸や腸内細菌は、もともとニンジンなどには適応していないのです。この点の反省から、草を主原料に作られた固型飼料に水だけを与えることにより、えさの問題を解決しました。

次に飼育施設、特に床の問題です。これも野生と



ノウサギ展示場(多摩動物公園)

同じ方がよいと考え、土にしがちです。野生動物であるノウサギは、たいいてい寄生虫に侵されていて、土の床では、再感染をくり返し、結局は死なせてしまうのです。そこで床は金網やコンクリートにしました。彼らは、たいへん臆病で、飼育舎にいるあいだは十分に掃除ができません。そこで、室を2室に分けて、清掃中は隣にノウサギを移せる飼育施設に

しました。この2点の工夫で、掃除は行き届き、清潔を保ち、寄生虫の再感染を防げたのです。

○ 展示の成功

展示場ができて、お客さんの前にノウサギが出てこなければ、なんにもなりません。

ノウサギは夜行性ですから、薄暗くするため、展示場を北向きにしました。展示場内を自然的に見せるため、木の切り株を置き、アオキなどノウサギの食べない木を植えました。ノウサギは、薄暗いことと、接触できるものがあるため、落ち着いていました。その上、展示には、できるだけ飼育下生まれや人工哺育の個体を使いました。どうしても、野生から直接入った個体は、あばれたり、裏の箱に逃げ込んでしまうからです。

これらの工夫で、なんとか、いつでも生きたノウサギを見てもらえるようになったのです。

○ カイウサギとの違い

日本では、カイウサギもノウサギもウサギと呼びます。しかし、カイウサギの祖先であるアナウサギとノウサギの両種が生息しているヨーロッパでは、区別しています。英語の呼び名は、アナウサギはrabbit、ノウサギはhareとまるで別々です。ノウサギの肉でしかできないフランス料理があります。この材料をとるため、ヨーロッパ人はノウサギの家畜化も試みたにちがいません。家畜化が無理だとわかると、今度は、ノウサギの肉質で、カイウサギのように飼いやすいウサギを作ろうと、雑種作りを試みました。しかし、雑種はできませんでした。トラとライオン、ウマとロバなどで雑種ができることと比べると、この2種は、かなり遠縁の動物なのです。



エゾユキウサギの子

ノウサギはカイウサギにくらべ、ほっそりとしていて、耳は短く、足が大きく長いなど、外見上の違いがあります。しかし、これ以上に、生態の違いは大きなものがあります。カイウサギは、穴を掘り、巣をつくり、平均7~8頭の赤裸の子を産みます。ノウサギは、穴は掘りませんし、巣もつくらず、子は草むらの中などに産みます。子は生まれたときから、毛がはえ、目も開き、歯もはえ、体重は100g前後あります。成長も早く、実験的に生後5日目に離乳させた子も育ちました。おそらく野生でも生後2週間目ぐらいで独立してしまうと思われる。

哺乳は夜間1度だけ、母親が子のところへやって来ておこないます。このときは敵にねらわれやすいので、母親は前肢を立てた座ったかっこうで耳をぴんと立てて、あたりを警戒しています。安全な穴の中で哺乳するカイウサギのように、寝そべて哺乳することは、けっしてありませんでした。

○ ノウサギとユキウサギ

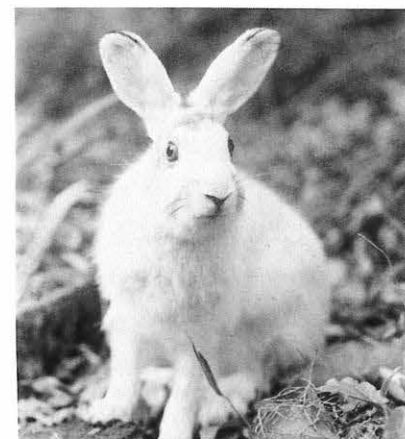
日本には、北海道のユキウサギと、本州以南のノウサギの2種のノウサギ類が分布します。

ユキウサギは大型で、3kg以上になり、頭が大きく、がっしりとして、妊娠期間は50~51日と長く、産子数も1~5頭と多産です。一方、ノウサギは平均2.6kg位と小型で、妊娠期間は42~48日と短く、産子数も1~3頭と少な目です。

クマヤリスなど多くの哺乳類で、ブラキストン線(津軽海峡)の北、つまり北海道の動物は、大陸と共通の大型種であることが知られています。ノウサギ類も例外ではなく、飼っていても、ユキウサギの方が、生命力の強さといったものを感じさせられました。私の取越し苦労かもしれませんが、もし、ユキウサギが青函トンネルに落ちこちて、そのまま本州に上陸してしまったら、将来、青森の方からノウサギが消えていくことになるかもしれません。

○ ノウサギ4亜種の違い

本州以南のノウサギは、東北から山陰地方の雪国



トウホクノウサギ: 11月になると毛が白くなる

にすむトウホクノウサギ、佐渡のサドノウサギ、隠岐のオキノウサギ、本州の雪の少ない地方と九州、四国のキュウシュウノウサギに分けられます。この4亜種を同時に飼育して、

亜種ごとに外見上の違いを年間を通じて追ってみると、それなりにそれぞれの特徴がみつかりました。トウホクノウサギとサドノウサギは冬に白くなります。しかし、前者が11月下旬には真白になるのに、後者は1月下旬にならなければ真白くならず、白い期間も短いのです。これは佐渡が島に雪が積るのが遅く、この積雪に適応したものです。もっとも、彼らは、雪を見て冬を知り、白くなるのではありませ



ん。日長の変化で季節を知るのです。サドノウサギは佐渡、トウホクノウサギは越後などと、それぞれの土地の雪の積る時期の日の長さに合わせて、白くなるように進化してきた

のでしょう。ですから、雪のない東京で飼っていても、ちゃんと産地の積雪時期に合わせて白い姿になるのです。

キュウシュウノウサギとオキノウサギは、冬になっても白くなりません。しかし、オキノウサギののどやわき腹には、かなり白い毛が目立ちます。これも冬の白化だと考えられていたことがありますが、これは季節的なものではなく、年令的なもので、年をとると白い毛が増

えてくるのがわかりました。今までのノウサギに関する多くのデータは、射ち殺された、ある個体のある一瞬の状態ですから、こうした点を見のがしていたのです。野生動物の真の姿を知るためには、飼育してみなければわからないことが、まだまだたくさんあるといえるでしょう。

(上野動物園)

動物なんでも相談室

☆ ウサギに水を与えたら死ぬそうですが、ほんとうですか。

奈良県 中村 幸江

ペットとしてよく飼われているウサギは、ヨーロッパのアナウサギを飼いならしてつくられたものです。ウサギは湿気に大変弱いため、与えた水のため飼育場所がぬれたり、乾かなかつたりすると病気になることがよくあります。特に生まれたばかりの赤ちゃんには禁物です。食物として水分の多い野菜などを十分与えておけば、それほど水を与える必要はないと思います。でも、固型飼料だけで飼育する場合、暑い時、出産後などは、やはり水を与えてやるのが大切でしょう。その為には、サイホン式の給水器もありますので利用するのがいいと思います。

(回答：大野 尊信)

(イラスト：藪野 幸司)



☆ ウサギの耳はどうして長いのですか。

堺市 江口 由美子

ウサギの長い耳は人間がつかむ時に都合がいい為にあるわけではありませんよ。

まず一つには、集音効果があります。常に外敵にねらわれやすいウサギにとって、より早く危険を察知なくてはなりません。

次に体温調節の役目があります。ウサギの耳をよく観察すると、他の部分よりも毛が短かく血管もよく見えますね、そこから上昇した体温を放散させるわけです。

それに、最近の研究では跳躍した時のショックをやわらげる役目もあるのではとされています。でも、なによりもウサギの長い耳はウサギ自身を随分可愛く、みせていると思いませんか。

(回答：大野 尊信)

(イラスト：山下 奉之)



動物園ニュース

なぎごえ23(1), 1987

§ 出産動物あれこれ

10月25日から母親の袋から顔をのぞかせ始めたアカカンガルーの赤ちゃんが11月10日に初めて袋から出ました。母親の“コリン”は今回が5回目の出産で、



かわいい赤ちゃんは人気を集めています。

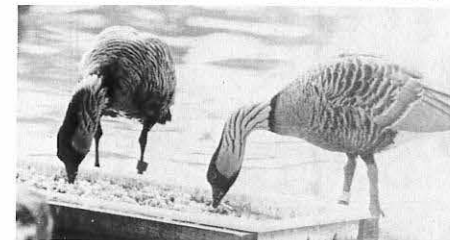
また、11月29

アカカンガルーの赤ちゃん

日には、ラマが生まれました。母親の“ホワイティ”は10回目の出産で、午前10時23分に破水し、13分で出産という安産でした。生まれたオスの赤ちゃんは順調に成長しています。(3ページ参照)

§ 新着動物あれこれ

11月9日、ハワイガンの雄、クビワコガモ2番、ツクシガモ1番、チリーシギダチョウ1番が来園しました。



番になったハワイガン

ました。ハワイガンは絶滅が心配されているガンですが、1昨年6月以来雌1羽となっていましたので、待望の雄の入園です。チリーシギダチョウはチリーからアルゼンチンに分布する地上性の鳥です。現在検疫中ですが、近日中にキジ舎にお目見えする予定です。

§ オランウータンの赤ちゃんの愛称決まる

秋の動物園まつり中に募集したオランウータンの赤ちゃん



離乳食を食べる“サブ”

現在の飼育動物数

(1986年11月30日現在)

哺乳類	13目	110種	442点
鳥類	20目	176種	641点
爬虫類	3目	31種	51点
合計	36目	317種	1,133点

のペットネームが決定しました。応募総数7689票のうち628票の投票があった“サブ”に決定しました。母親の“サツキ”、父親の“ブル”から一字ずつとって命名されたものです。

応募者の中から藤井寺市の奥野雅子さんら20名の方々に記念品としてぬいぐるみのオランウータンを贈りました。

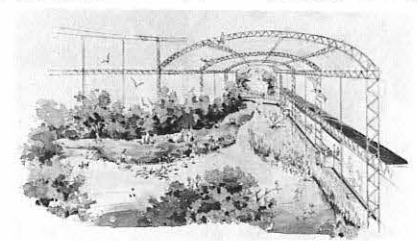
§ 残念だったホッキョクグマの出産

11月10日、ホッキョクグマが3頭生まれました。しかし、翌日2頭の死亡を確認し、残る1頭を人工哺育に切り替えましたが、これもその日の夕方に死亡しました。

動物園での出産では、安心して育児をさせるため母グマを暗い寝室に3ヶ月ぐらい閉じ込めておく必要があります。そのため寝室の一部を改造し、閉じ込めることができるようにしましたが、今年は閉じ込める機会を失ない、失敗してしまいました。今年は昨年の失敗の経験を生かして成功させたいものです。

§ バードケージ建設決まる

8月1日から11月8日まで天王寺公園一帯で天王寺博覧会が開催されます。これに合わせて南園の日本庭園付近にバードケージを建設することが決定しました。



バードケージ(イメージ図)

今回の建設されるバードケージは当園では初めての試みとしてケージ内に自由に人間が入り、散策を楽しみながら鳥の生態を観察できる施設となります。日本庭園の地形を利用し、池の他に滝や流れを設け、水辺に住む鳥たちを展示する予定です。広さ約2500㎡、高さ20mの巨大なケージは日本有数のものとなるでしょう。着工は1月中旬で、7月には完成の予定です。

●お知らせ

動物のお話とスライドの会

- 1月18日(日) エトに因むウサギのお話
 - 2月15日(日) 身近で見られる冬の野鳥
 - 3月15日(日) 草食の動物
- 時間：午後1時～2時
於：北園レクチャールーム

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。2月までの休園日は下記の通りです。
12月15日(月)、1月19日(月)、2月16日(月)、
年末年始は、12月29日(月)～1月1日(木)まで休園いたします。
開園時間は、9時30分から5時までで、4時に切符売止めになります。

ゆとり満喫、信頼のカード。



ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード
(キップス) **KIPS**

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店  お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ
●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●西京都店1階
(京都ファミリー)

●オールカラー

ひかりのくに 監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

むし

くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きつとすばらしいことに出会えるはずだ。

580円

ひかりのくに株式会社
〒543-1401 天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする
はるかに美しく

フジカラー SUPER HR

かろうの大林
桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

ビデオ 動物園へ行こう

の無料貸出をします。



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。

動物観察の手引に
**天王寺動物園
ガイドブック**
のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会
〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

猫の歴史と奇話

(定価・2600円)
A5判・260頁
口絵挿画・113図

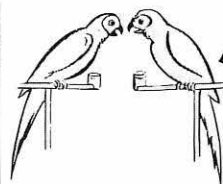
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

主な目次

第一章 猫の歴史 欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで	第二章 猫股伝説 老猫化けてさまざまな怪異をなす
第三章 猫の報恩談 蛇を咬んだり、金を運んだりする	第四章 野性猫の存在 裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡来など
第五章 猫の奇話(上) 長命、多産、三毛猫などの形態の奇話	第六章 猫の奇話(中) 長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動
第七章 猫の奇話(下) マタタビを媚薬とする奇妙な習性など	第八章 益獣としての猫 あらゆる角度から猫の生態と効用を探究

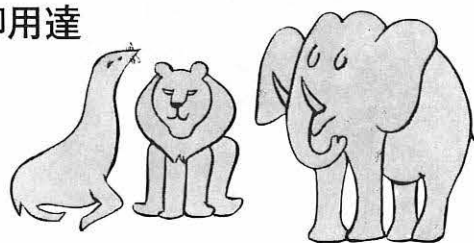
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

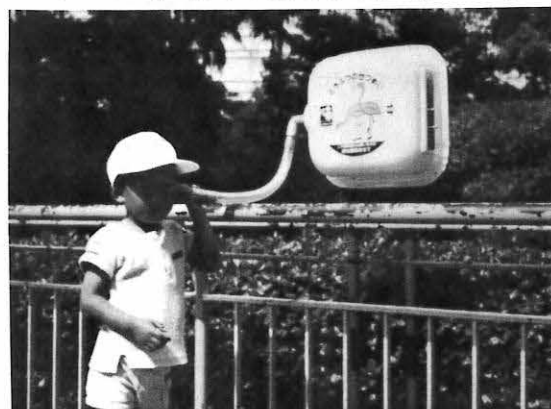
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での

お食事、ご休憩は

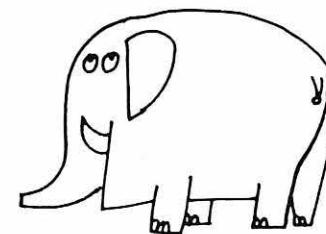
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



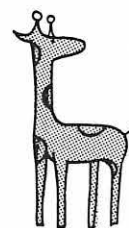
南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますので説明
に伺いました際は、
よろしく願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ



雪印ヨーグルト

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

自然の
おいしさ

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和62年1月10日発行(毎月1回10日発行)第23巻 第1号 (通巻257号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/前田豊彦/宮下
大野尊信/山下春之/農本武志/野口秀高/早川 篤/数野幸司/堀

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

実/長瀬健二郎/榊原安昭/森本委利
弘/大川光雄